

「豊岡市内における就業・消費活動等の実態に関するアンケート調査」結果

豊岡市内の事業所に勤務する従業員に対して行ったアンケート調査（図表 1）をもとに、定住・就業や消費に関するニーズや意向について分析を行った。

図表 1 アンケート調査の実施要領（概要）

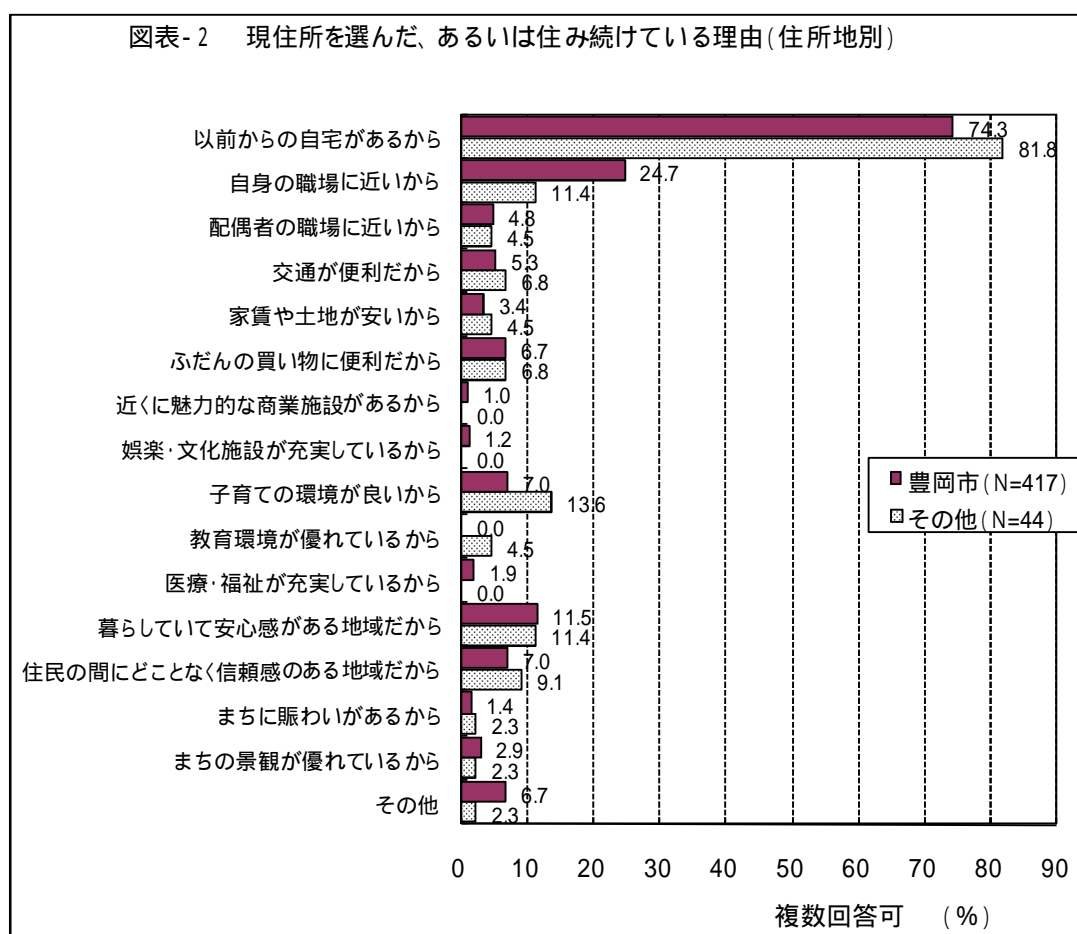
調査対象	豊岡市内の事業所に勤務する従業員 2,224人 【回答者の属性・件数（構成比）】
	性別 男性 252件（54.7%） 女性 173件（37.5%） 不明 36件（7.8%）
	年齢 20歳代 25件（5.4%） 30歳代 97件（21.0%） 40歳代 101件（21.9%） 50歳代 149件（32.3%） 60歳以上 83件（18.0%） 不明 6件（1.3%）
	住所 豊岡市 417件（90.5%） 養父市 11件（2.4%） 朝来市 3件（0.7%） 香美町 13件（2.8%） 新温泉町 1件（0.2%） その他兵庫県内 2件（0.4%） 京丹後市 12件（2.6%） その他 2件（0.4%）
	勤務する事業所の業種 製造業 100件（21.7%） 建設業 78件（16.9%） 卸売・小売業 76件（16.5%） 飲食・宿泊業 29件（6.3%） 金融・保険・不動産業 27件（5.9%） 運輸・通信業 8件（1.7%） サービス業 68件（14.8%） 医療・保健・介護業 28件（6.1%） 農林水産業 13件（2.8%） その他 31件（6.7%） 不明 3件（0.7%）
調査時期	平成20年8月～平成20年10月
抽出方法	事業所向けアンケート調査のなかに、「従業員向けアンケート調査」の調査票を同封した。（1事業所あたり2通ずつ調査票を同封。） 事業所側で、勤務している従業員のなかから、男女・年齢・住所・職種等に関係なく、適当に2人を選んでもらい、アンケートに回答してもらった。
回収結果	461人（回収率20.7%）

1 定住・就業に関するニーズ・意向

(1) 豊岡市内での定住に関してどのようなニーズがあるか

居住地選択の理由

現住所を選んだ、あるいは住み続けている理由(図表 2)についてみると、豊岡市民、その他市民とも、「以前からの自宅があるから」という理由が最も多く、豊岡市では約74%を占めている。また、豊岡市では、「自身の職場に近いから」、「暮らしていて安心感がある地域だから」といった理由が比較的多くなっている反面、商業施設や娯楽・文化施設、医療・福祉、教育環境といった面から居住地を選択している割合は非常に低い。



豊岡市民について年齢別の理由(図表 3)をみると、20歳代、30歳代では、「自身の職場に近いから」、「配偶者の職場に近いから」といった理由が合計を大きく上回っている。40歳代では、「子育ての環境が良いから」、「暮らしていて安心感がある地域だから」といった理由が合計を大きく上回っている。50歳代、60歳以上になると、「以前からの自宅があるから」、「普段の買い物に便利だから」といった理由が合計を上回っている。

資料 2

図表 3 現住所を選んだ、あるいは住み続けている理由（豊岡市民・年齢別）

（％）

	以前からの自宅があるから	自身の職場に近いから	配偶者の職場に近いから	交通が便利だから	家賃や土地が安いから	ふだんの買い物に便利だから	近くに魅力的な商業施設があるから	娯楽・文化施設が充実しているから
20歳代(N=21)	61.9	38.1	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(N=84)	66.7	31.0	8.3	3.6	4.8	4.8	1.2	0.0
40歳代(N=95)	68.4	22.1	3.2	4.2	2.1	4.2	2.1	1.1
50歳代(N=135)	79.3	25.2	5.2	5.2	3.0	8.1	0.0	0.7
60歳以上(N=76)	85.5	17.1	1.3	9.2	5.3	11.8	1.3	3.9
合計(N=411)	74.3	24.9	4.8	5.3	3.4	6.8	1.0	1.2

	子育ての環境が良いから	教育環境が優れているから	医療・福祉が充実しているから	暮らしていて安心感がある地域だから	住民の間にどことなく信頼感のある地域だから	まちに賑わいがあるから	まちの景観が優れているから	その他
20歳代(N=21)	9.5	0.0	0.0	14.3	4.8	0.0	0.0	9.5
30歳代(N=84)	4.8	0.0	1.2	4.8	1.2	1.2	0.0	4.8
40歳代(N=95)	12.6	0.0	1.1	17.9	8.4	2.1	4.2	12.6
50歳代(N=135)	5.9	0.0	3.0	11.9	5.9	1.5	1.5	3.0
60歳以上(N=76)	3.9	0.0	2.6	10.5	14.5	1.3	7.9	7.9
合計(N=411)	7.0	0.0	1.9	11.5	7.0	1.4	2.9	6.7

居住環境に関する評価

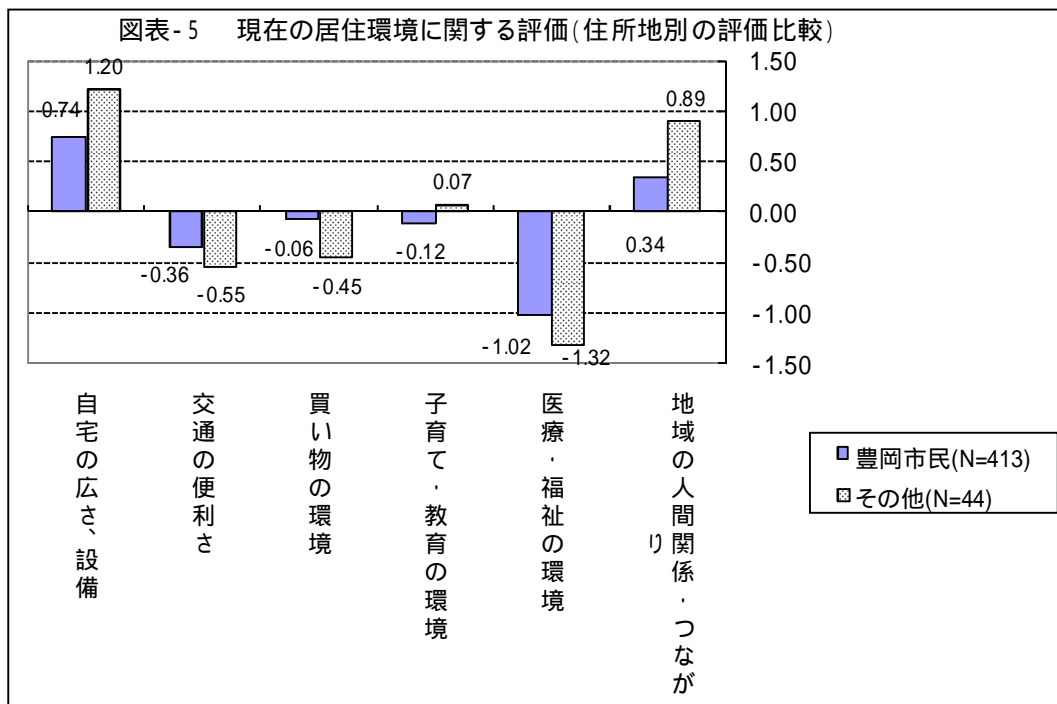
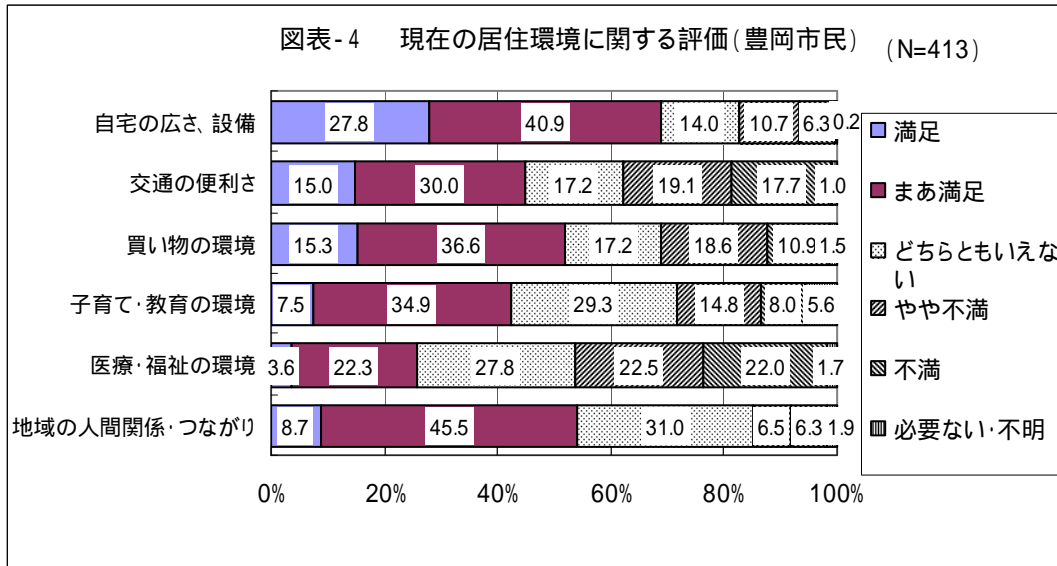
豊岡市民の現在の居住環境に関する評価（図表 4）をみると、「医療・福祉の環境」については、満足が不満足を大きく下回っているが、それ以外の居住環境については、満足が不満足を上回っている。

その他の市民の評価と比較（図表 5）すると、豊岡市民、その他市民とも「自宅の広さ」や「地域の人間関係・つながり」については、評価が高いが、それ以外については、評価が低い。豊岡市の周辺市町は豊岡市と似たような居住環境にあることがうかがえる。

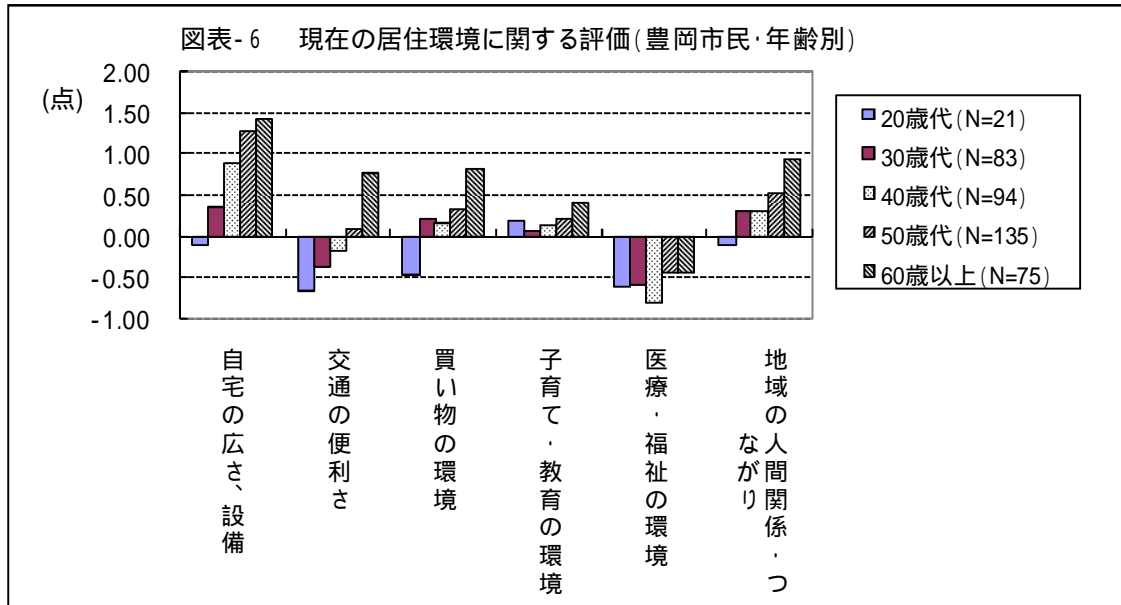
さらに、豊岡市民の評価を年齢別（図表 6）にみると、50歳代、60歳以上の満

資料 2

足度は高いものの、働き盛りの世代である20歳代から40歳代の評価は全般的に低くなっている。特に、「交通の便利さ」、「買い物の環境」については、20歳代での不満の大きさが目立っている。また、「医療・福祉の環境」については、全世代にわたって不満が顕著である。



(注)「満足」を3点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-3点として算出した平均点。

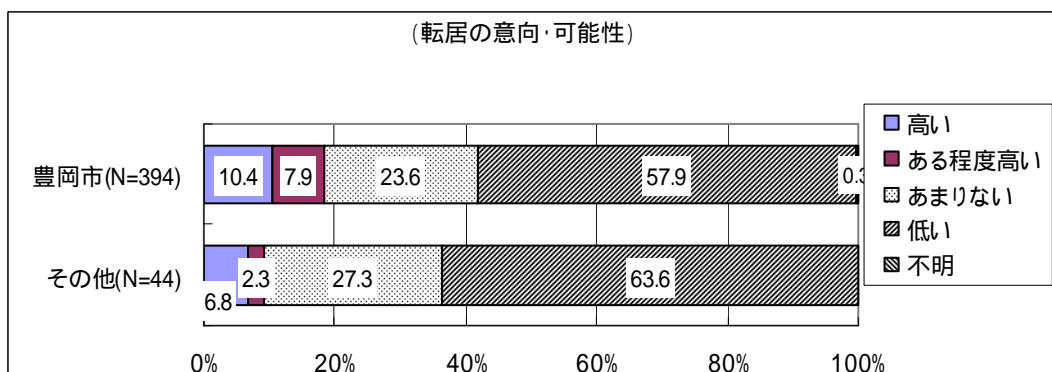


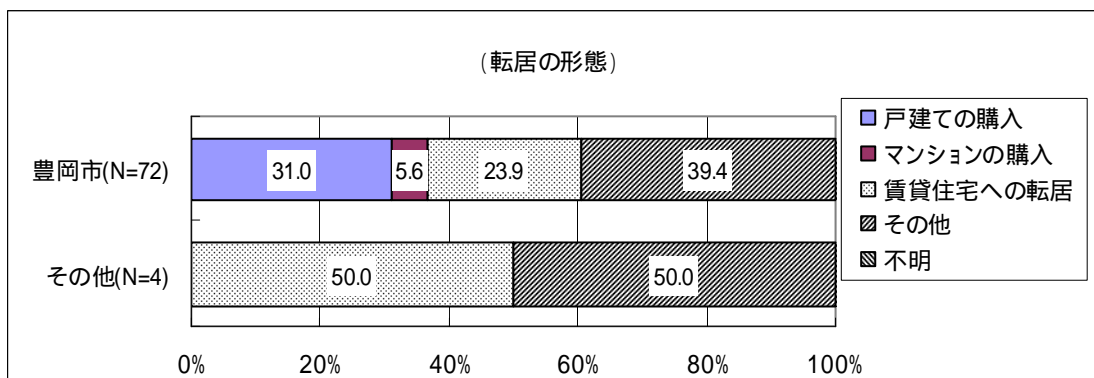
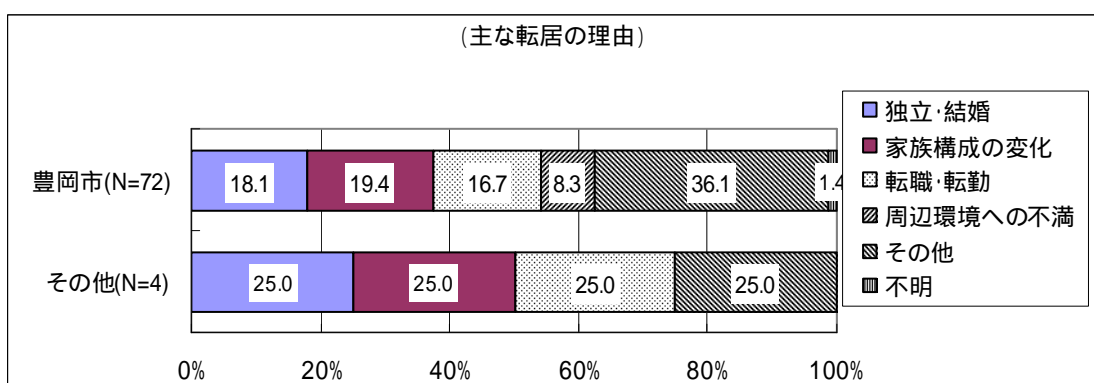
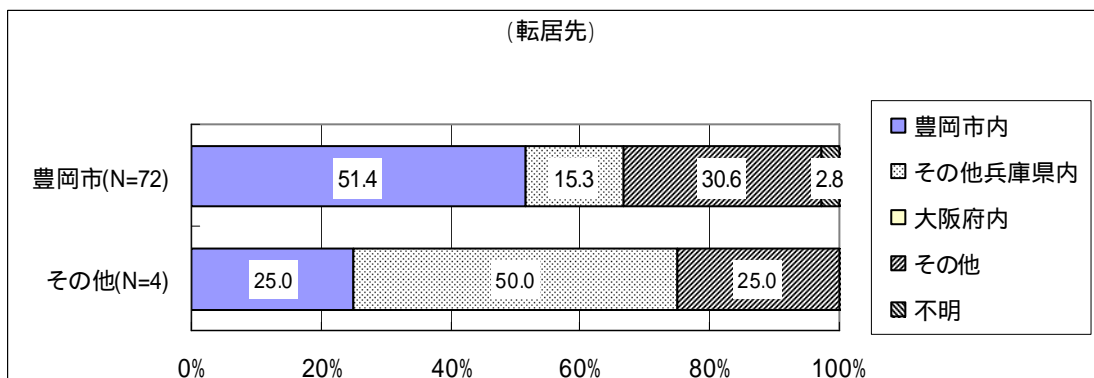
転居の意向・可能性

今後10年間程度の間における転居の意向・可能性(図表7)についてみると、豊岡市民では転居の可能性が「高い」、「ある程度高い」という人は18%であり、半数以上の方は「低い」と回答している。その他市民も同様に、転居の意向のある人は少数に留まっている。

また、転居の意向・可能性が高い人に対して、想定される転居先、主な転居の理由、転居の形態について尋ねたところ、豊岡市民の半数は豊岡市内への転居の意向を示しているが、市外への転居の意向も半数近くを占めている。その他市民のうち、豊岡市内への転居意向を示す人は25%を占めている。主な転居の理由については、豊岡市民では「独立・結婚」、「家族構成の変化」が比較的多いが、その他市民には回答のない「周辺環境への不満」が8%を占めている。転居の形態については、豊岡市民では「戸建ての購入」が最も多くなっている。

図表 7 今後10年間程度の間における転居の意向・可能性(住所地別)





次に、豊岡市民の転居の意向を年齢別（図表 8）にみると、転居の意向・可能性は若年層ほど高く、20歳代で50%、30歳代で38%となっており、その主な理由としては、「独立・結婚」が最も多い。転居先については、全世代にわたって豊岡市内への転居が圧倒的である。

図表 8 今後10年間程度の間における転居の意向・可能性（豊岡市民・年齢別）

	高い	ある程度高い	あまりない	低い	不明	合計
20歳代(N=19)	33.3	16.7	22.2	22.2	5.6	100.0
30歳代(N=82)	24.7	13.6	19.8	42.0	0.0	100.0
40歳代(N=93)	6.5	9.8	25.0	58.7	0.0	100.0
50歳代(N=129)	5.5	4.7	24.2	64.1	1.6	100.0
60歳以上(N=66)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
合計(N=389)	10.1	7.5	19.2	45.2	17.9	100.0

	戸建ての購入	マンションの購入	賃貸住宅への転居	その他	不明	合計
20歳代(N=10)	40.0	0.0	30.0	30.0	0.0	100.0
30歳代(N=33)	27.3	0.0	30.3	39.4	3.0	100.0
40歳代(N=14)	35.7	14.3	14.3	35.7	0.0	100.0
50歳代(N=12)	25.0	16.7	8.3	50.0	0.0	100.0
60歳以上(N=3)	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	100.0
合計(N=72)	30.6	5.6	23.6	38.9	1.4	100.0

	独立・結婚	家族構成の変化	転職・転勤	周辺環境への不満	その他	不明	合計
20歳代(N=10)	60.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	100.0
30歳代(N=33)	21.2	21.2	18.2	9.1	27.3	3.0	100.0
40歳代(N=14)	0.0	21.4	7.1	14.3	57.1	0.0	100.0
50歳代(N=12)	0.0	25.0	33.3	0.0	41.7	0.0	100.0
60歳以上(N=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	100.0
合計(N=72)	18.1	19.4	16.7	8.3	36.1	1.4	100.0

	豊岡市内	その他兵庫県内	大阪府内	その他	不明	合計
20歳代(N=10)	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	100.0
30歳代(N=33)	54.5	15.2	0.0	24.2	6.1	100.0
40歳代(N=14)	50.0	21.4	0.0	28.6	0.0	100.0
50歳代(N=12)	33.3	8.3	0.0	58.3	0.0	100.0
60歳以上(N=3)	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0
合計(N=72)	51.4	15.3	0.0	30.6	2.8	100.0

(2) 勤務先に満足しているか

勤務先選択の理由

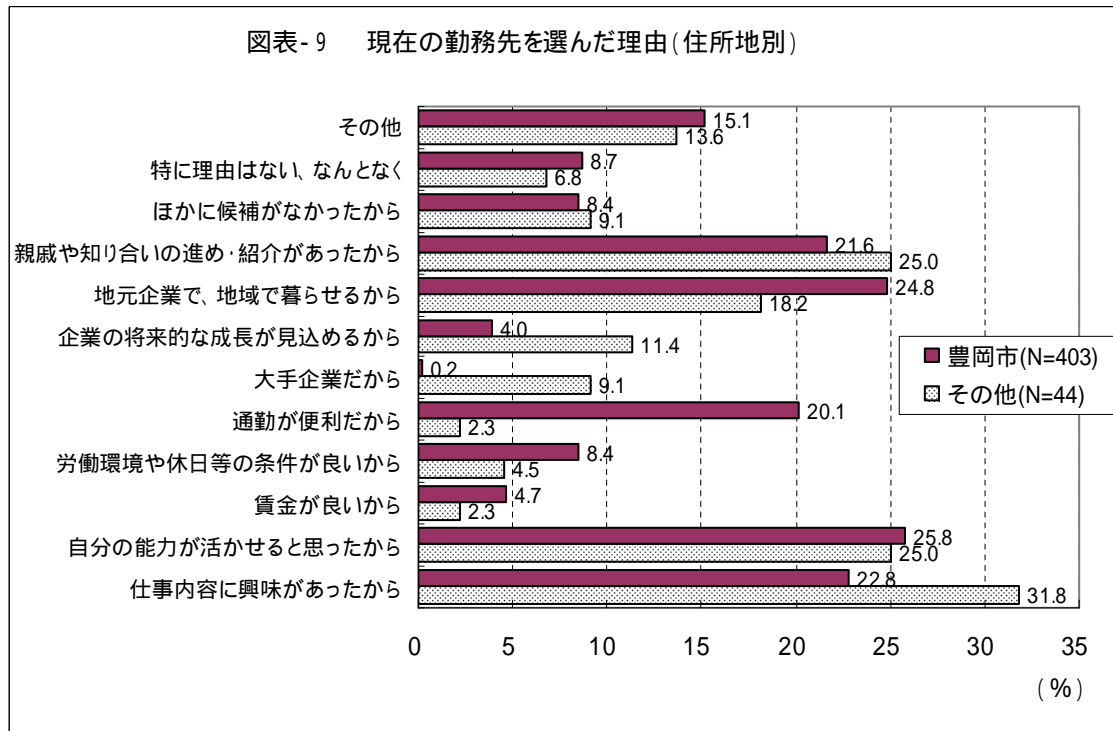
現在の勤務先を選んだ理由（図表 9）についてみると、豊岡市民では、「自分の能力を活かせると思ったから」、「地元企業で、地域で暮らせるから」、「仕事内容に興味があったから」が上位を占めており、地元で暮らしながら能力を活かせる職場を求める傾向が強いことがうかがえる。その他市民では、「仕事内容に興味があったから」、「自分の能力を活かせると思ったから」、「親戚や知り合いの勧め・紹介があったから」が上位を占めており、積極的な姿勢と消極的な姿勢が混在している。

年齢別（図表 10）にみると、若年層になるほど「仕事内容に興味があったから」、「賃金が良いから」という理由が多い。40歳代になると「労働環境や休日等の条件が良いから」、「企業の将来的な成長が見込めるから」などの理由が合計を上回る。50歳代以上になると「特に理由はない、なんとなく」という回答が目立っている。

また、勤務する事業所の職種別（図表 11）にみると、建設業、製造業、卸売業では、「通勤が便利だから」、「親戚や知り合いの勧め・紹介があったから」という理由が多

資料 2

く、一方、金融・保険・不動産業では、「大手企業だから」、「企業の将来的な成長が見込めるから」、「地元企業で、地域で暮らせるから」などの理由が大きい。運輸・通信業や医療・保健・介護業では、仕事内容への興味や能力の適性を重視している。



図表 10 現在の勤務先を選んだ理由(年齢別) (%)

資料 2

	仕事内容に興味があったから	自分の能力が活かせると思ったか	賃金が良いから	労働環境や休日等の条件が良いから	通勤が便利だから	大手企業だから
20歳代 (N=25)	40.0	12.0	8.0	8.0	12.0	0.0
30歳代 (N=95)	32.6	29.5	6.3	10.5	26.3	2.1
40歳代 (N=99)	28.3	26.3	6.1	13.1	18.2	1.0
50歳代 (N=149)	16.1	26.2	2.7	6.0	17.4	1.3
60歳以上 (N=74)	17.6	25.7	2.7	2.7	13.5	0.0
合計 (N=442)	24.0	26.0	4.5	8.1	18.6	1.1

	企業の将来的な成長が見込めるから	地元企業で、地域で暮らせるから	親戚や知り合いの勧め・紹介があったから	ほかに候補がなかったから	特に理由はない、なんとなく	その他
20歳代 (N=25)	0.0	24.0	20.0	4.0	8.0	12.0
30歳代 (N=95)	3.2	22.1	24.2	12.6	7.4	5.3
40歳代 (N=99)	7.1	28.3	25.3	8.1	6.1	12.1
50歳代 (N=149)	6.0	24.8	21.5	10.1	10.1	15.4
60歳以上 (N=74)	2.7	21.6	13.5	2.7	10.8	29.7
合計 (N=442)	4.8	24.4	21.5	8.6	8.6	14.7

図表 1 1 現在の勤務先を選んだ理由（職種別）（％）

資料 2

	仕事内容に興味があったから	自分の能力が活かせると思ったから	賃金が良いから	労働環境や休日等の条件が良いから	通勤が便利だから	大手企業だから
建設業(N=76)	22.4	27.6	3.9	5.3	22.4	1.3
製造業(N=99)	13.1	21.2	5.1	9.1	22.2	2.0
卸売業(N=29)	24.1	41.4	10.3	10.3	34.5	0.0
小売業(N=47)	23.4	25.5	6.4	10.6	14.9	2.1
飲食・宿泊業(N=26)	26.9	23.1	7.7	3.8	11.5	0.0
金融・保険・不動産業(N=27)	25.9	29.6	0.0	7.4	14.8	3.7
運輸・通信業(N=8)	50.0	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0
医療・保健・介護業(N=28)	46.4	42.9	0.0	17.9	17.9	0.0
サービス業(N=67)	26.9	11.9	3.0	4.5	11.9	0.0
農林水産業(N=11)	18.2	54.5	0.0	0.0	18.2	0.0
その他(N=28)	21.4	17.9	3.6	10.7	14.3	0.0
合計(N=446)	23.5	25.8	4.5	8.1	18.4	1.1

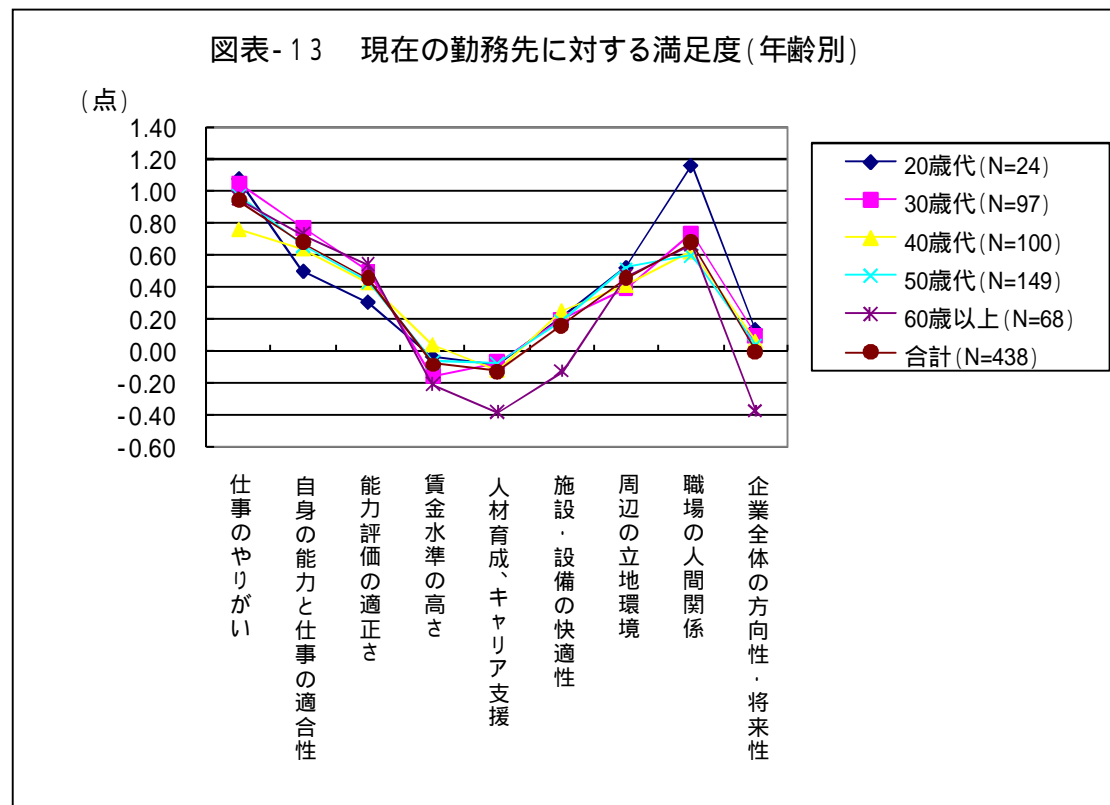
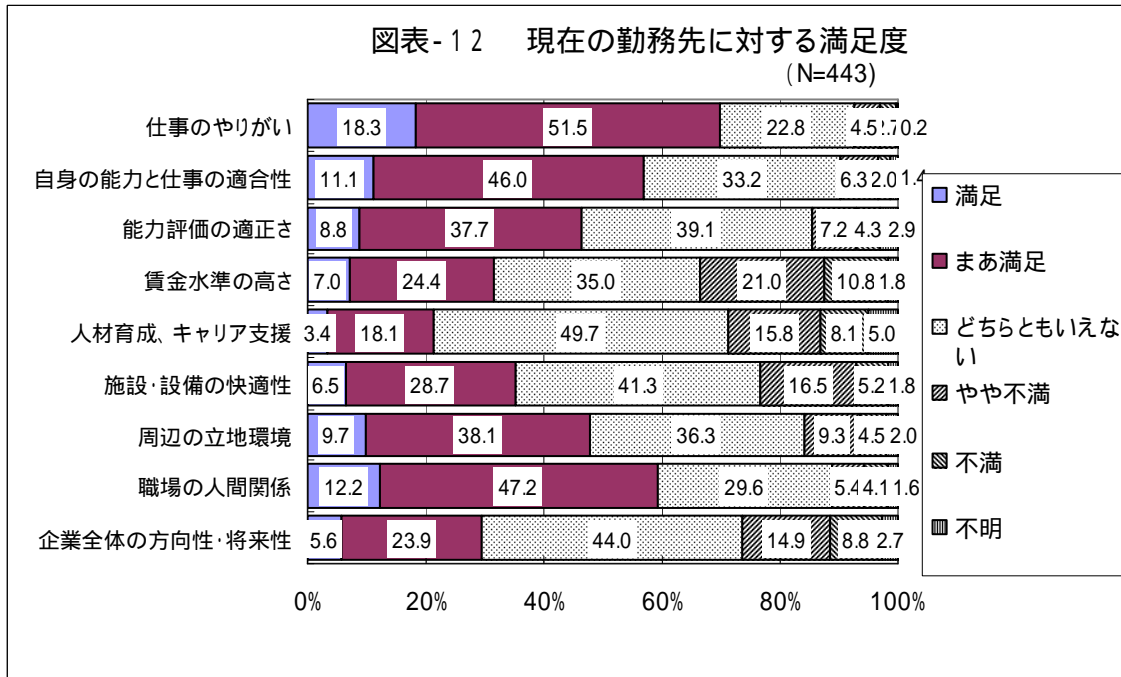
	企業の将来的な成長が見込めるから	地元企業で、地域で暮らせるから	親戚や知り合いの勧め・紹介があったから	ほかに候補がなかったから	特に理由はない、なんとなく	その他
建設業(N=76)	3.9	22.4	23.7	10.5	6.6	14.5
製造業(N=99)	6.1	30.3	26.3	8.1	7.1	15.2
卸売業(N=29)	3.4	20.7	31.0	0.0	3.4	0.0
小売業(N=47)	6.4	14.9	19.1	8.5	10.6	19.1
飲食・宿泊業(N=26)	0.0	23.1	7.7	11.5	11.5	19.2
金融・保険・不動産業(N=27)	11.1	37.0	18.5	14.8	7.4	0.0
運輸・通信業(N=8)	25.0	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0
医療・保健・介護業(N=28)	0.0	21.4	25.0	10.7	3.6	7.1
サービス業(N=67)	4.5	17.9	22.4	7.5	11.9	25.4
農林水産業(N=11)	0.0	45.5	0.0	0.0	9.1	27.3
その他(N=28)	0.0	17.9	17.9	7.1	17.9	17.9
合計(N=446)	4.7	24.2	22.0	8.5	8.5	15.0

勤務先に対する満足度

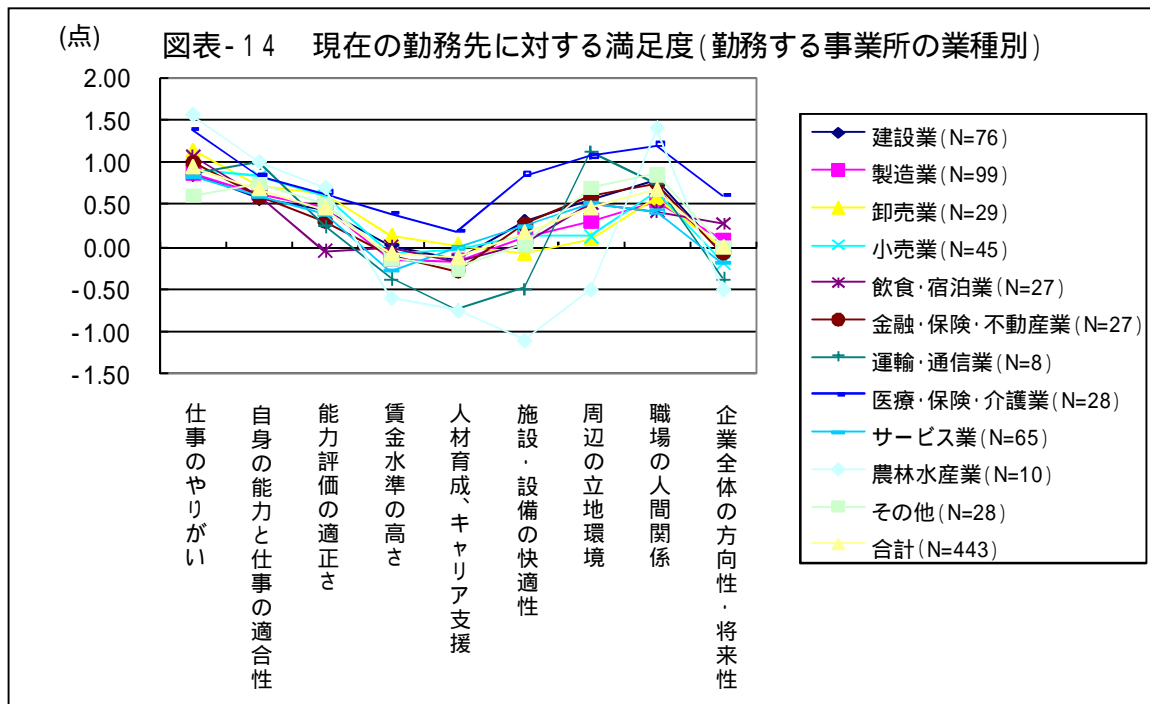
現在の勤務先に対する満足度（図表 12）をみると、満足度の高い順は「仕事のやりがい」、「職場の人間関係」、「自身の能力と仕事の適合性」と続き、不満を大きく上回っている。一方、「賃金水準の高さ」や「人材育成、キャリア支援」について、やや不満が満足を上回っている。

年齢別（図表 13）にみると、世代間の満足度の格差はあまりみられないが、特に、20歳代では「職場の人間関係」に対する満足度が比較的高く、60歳代以上では「人材育成・キャリア支援」に対する不満が目立っている。

また、勤務する事業所の業種別（図表 14）にみると、業種間の満足度の格差はあまり見られない。なかでも、医療・保健・介護業では全項目が「0」を上回っており、相対的に満足度が高い。農林水産業では、「施設・設備の快適性」、「周辺の立地環境」について、相対的に不満足度が高くなっている。



(注)「満足」を3点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-3点として算出した平均点。



(注)「満足」を3点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-3点として算出した平均点。

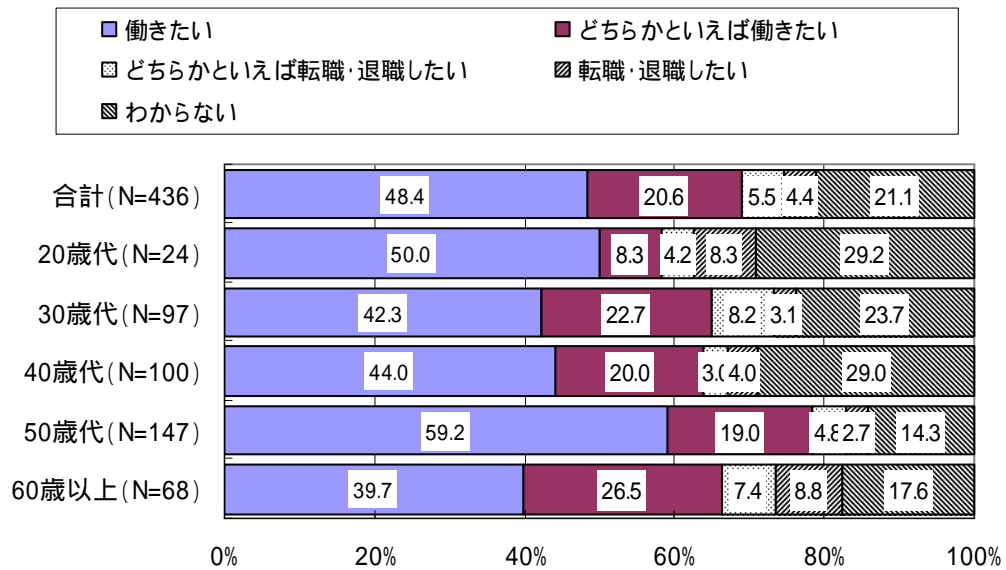
勤務継続の意向

現在の勤務先での勤務継続の意向(図表 15)をみると、全体では「働きたい」、「どちらかといえば働きたい」という人が69%を占め、「どちらかといえば転職したい」、「転職・退職したい」という人を大きく上回っている。年齢別にみると、50歳代では勤務継続の意向の割合が最も高く、20歳代ではその割合が最も低く、「わからない」という回答が29%と大きい。

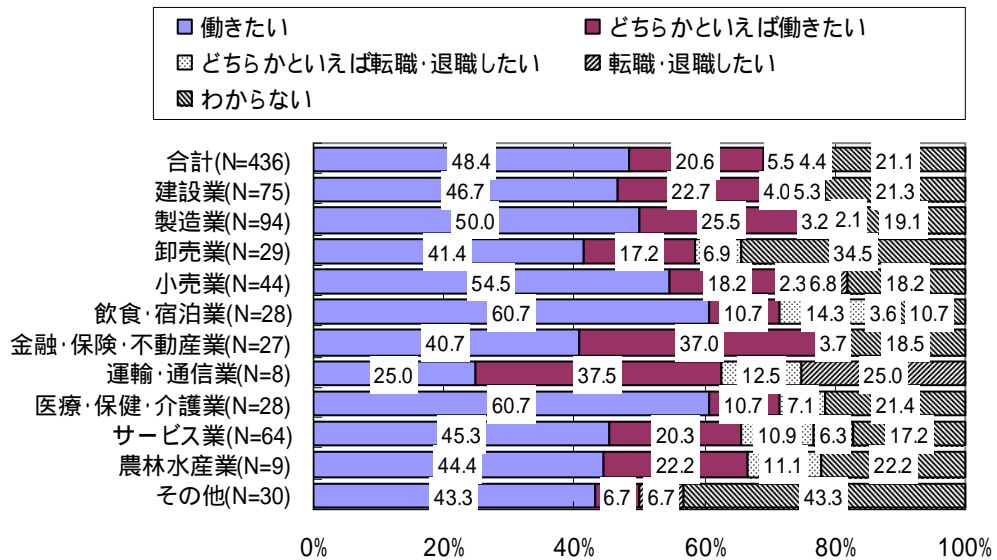
また、勤務する事業所の業種別(図表 16)にみると、金融・保険・不動産業、製造業、小売業の順で勤務継続の意向の割合が高い反面、運輸・通信業では、比較的、転職・退職意向の割合が高い。

さらに、「転職・退職したい」理由を探るため、勤務継続意向別に勤務先に対する満足度(図表 17)をみると、「転職・退職したい」人は「働きたい」人に比べて、全項目に対して満足度がかなり低く、特に、仕事のやりがいや能力の適性のみでなく「企業全体の方向性・将来性」や「賃金水準の高さ」についての不満度が高く、これが転職・退職理由の大きな要因となっていると考えられる。

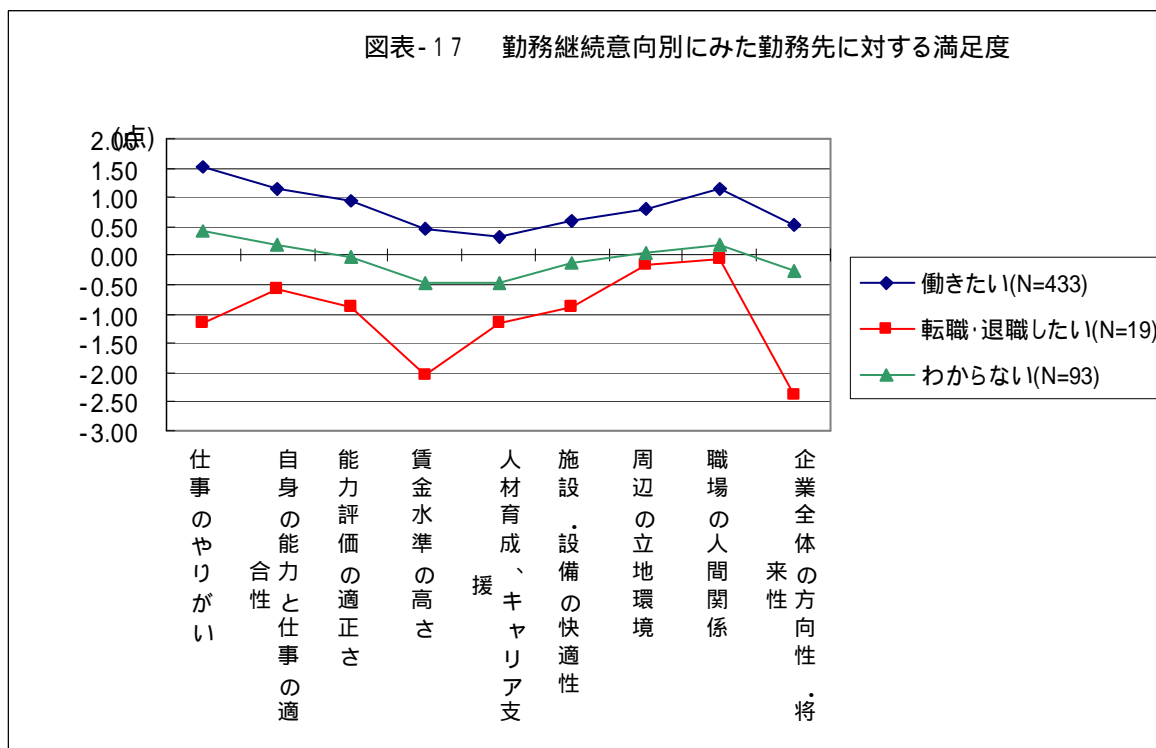
図表-15 現在の勤務先での勤務継続の意向(年齢別)



図表-16 現在の勤務先での勤務継続の意向(勤務する事業所の業種別)



図表-17 勤務継続意向別にみた勤務先に対する満足度



(注)「満足」を3点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-3点として算出した平均点。

2 消費に関するニーズ・意向

(1) 豊岡市内での消費活動や今後の支出増減についてどのような実態・意向を持っているか

豊岡市内での消費支出割合

豊岡市民及びその他市民における豊岡市内での消費実態を把握するため、食料品・日用雑貨、外食などの消費項目について、1か月あたりの平均支出額及び豊岡市内での購入割合を尋ねた。図表 18 をみると、1か月あたりの平均支出額は豊岡市民、その他市民とも食料品・日用雑貨への支出額が6万円前後と最も大きく、全体の平均支出額は豊岡市民では32万円、その他市民では30万円となっている。なお、総務省「全国消費実態調査報告」(2004年)では、兵庫県民では31万円、豊岡市民では40万円となっている。

次に、豊岡市内への支出割合をみると、豊岡市民の場合は平均65%、その他市民の場合は34%となっている。豊岡市民の豊岡市内支出割合をみると、食料品・日用雑貨は85%と比較的高いものの、日帰り観光・行楽やその他の消費支出は非常に低い。一方、その他市民の場合は、書籍・CD・ソフトの59%やゴルフ・スポーツの60%をはじめ、衣料品・身の回り品などの日用品費や趣味・嗜好関係費が30%~50%を占め、豊岡市内での支出割合が比較的高い。これは、ここでの「その他市民」は豊岡市内に勤

務する従業者（世帯）であるため、豊岡市内での消費機会が多いことに起因している側面があると考えられる。

図表 18 消費項目別・1か月あたり平均支出額、豊岡市内での支出割合

	豊岡市民		その他市民	
	1か月当たり平均支出額 (万円)	豊岡市内支出割合 (%)	1か月当たり平均支出額 (万円)	豊岡市内支出割合 (%)
食料品・日用雑貨	6.1	85.3	5.7	33.6
外食	1.4	68.1	1.1	37.2
衣料品・身の回り品	1.4	63.7	1.4	44.6
家電・インテリア品	1	73.2	0.8	39.4
保険医療	0.8	66.3	1.1	20.7
交通	1.6	69	2.2	41.8
自動車等関係費	2.4	72.6	3.2	48.6
通信	1.5	48.5	1.4	6.7
教育	3.3	46.1	2.3	19.1
教養娯楽関係	5	39.4	4.8	43.1
書籍・CD・ソフト	0.6	63.4	0.6	58.5
趣味・嗜好品	1.3	47.7	1.1	39.3
映画・芸術文化鑑賞	0.5	59.7	0	0
日帰り観光・行楽	1.5	12.1	1.3	13.1
ゴルフ・スポーツ	1.1	40.7	1.8	60.3
交際費	1.5	43.8	1.7	31.4
その他の消費支出	6.1	28.5	4	15.9
合計	32.1	65.3	29.7	34

- (注) 1. 1か月あたり平均支出額は、実際に支出があったものの平均額で、支出0円を含まない。
 2. 1か月あたり平均支出額は、同居する家族（家計が一緒の人）を含めた世帯ベースの金額。
 3. 豊岡市内支出割合は、1か月あたり平均支出額による加重平均値として算出した。

買い物移動における許容時間

前述の各消費項目について、買い物移動における許容時間（図表 19）をみると、車の場合は、おおむね20分～40分程度が移動の許容時間となっている。食料品・日用雑貨、保健・医療、自動車等関係費、教育、書籍・CD・ソフトなどの消費項目は20分程度短く、映画・芸術文化鑑賞、日帰り観光・行楽といった教養娯楽関係は、それぞれ66分、105分と比較的長い。一方、徒歩の場合は、おおむね10分～15分程度が移動の許容時間となっている。

買い物移動における許容時間から推測すると、映画・芸術文化鑑賞、日帰り観光・行楽といった教養娯楽関係については、市外での消費がさらに加速する可能性が高い。一方、教養娯楽関係以外については、インターネット通販やネットオークションでの買い物が増加しない限りは、市外への消費が加速する可能性は低いと考えられる。

図表 19 買い物移動における許容時間

(分)

	車	徒歩
食料品・日用雑貨	20	11
外食	27	18
家具・家事用品	29	13
衣料品・身の回り品	37	14
保健医療	23	7
交通	24	12
自動車等関係費	21	7
通信	25	-
教育	22	14
書籍・CD・ソフト	22	-
趣味・嗜好品	31	11
映画・芸術文化鑑賞	66	12
日帰り観光・行楽	105	-
ゴルフ・スポーツ	34	-
諸雑費	21	12
交際費	30	-
仕送り金	66	-
その他	41	-

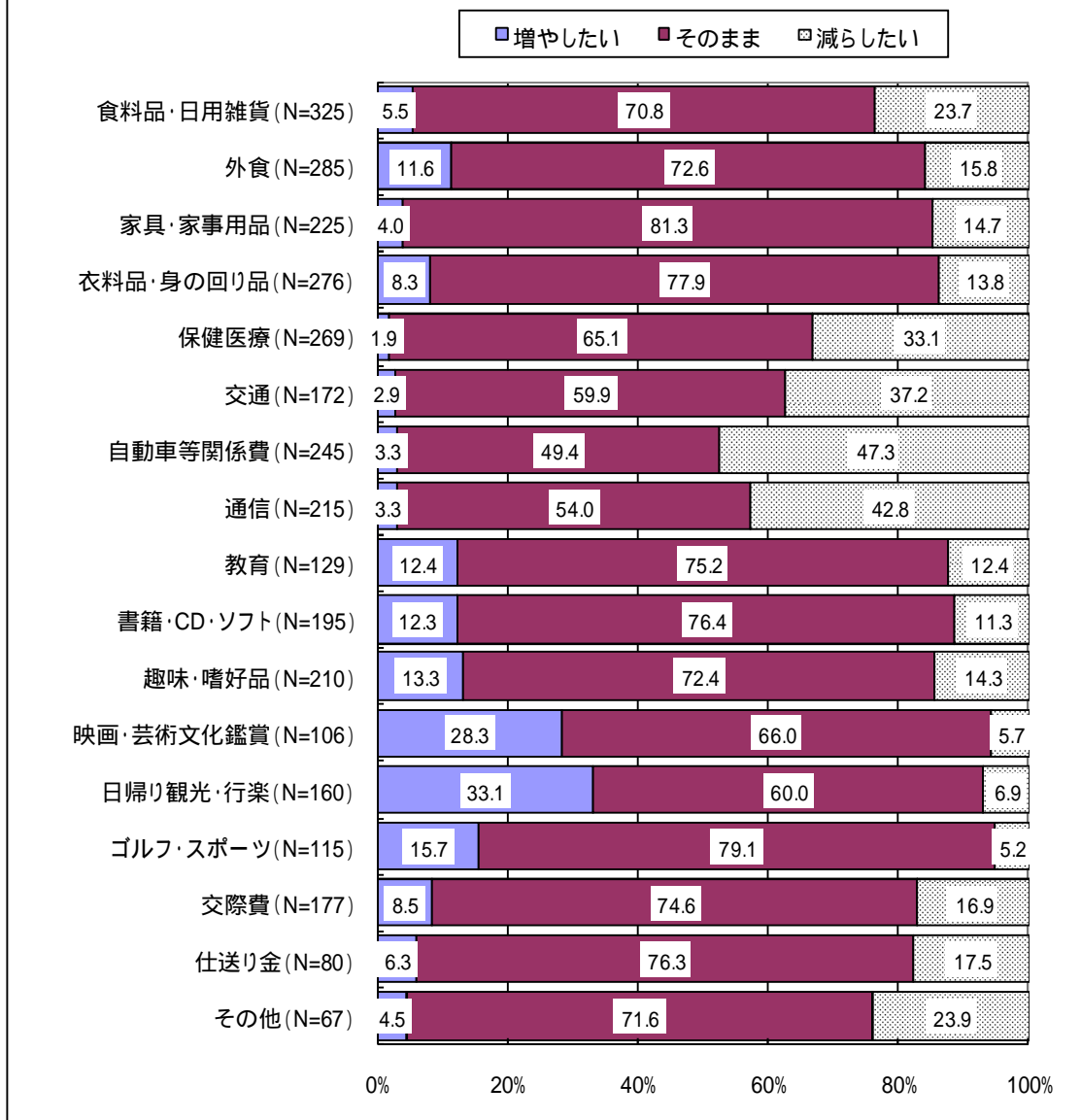
(注)「徒歩」は、回答数が5件以上の項目を記載した。

今後の消費支出の増減意向

今後の消費支出の増減意向(図表 20)をみると、いずれの消費項目も「そのまま」という意向の割合が大部分を占めている。個別項目にみると、豊岡市内での支出割合の高い「食料品・日用雑貨」、「外食」、「家具・家事用品」、「衣料品・身の回り品」だけでなく、「保健医療」、「交通」、「自動車等関係費」、「通信」についても、消費支出を「減らしたい」が「増やしたい」を上回っており、消費マインドの減退が今後の市内消費を減少させることが懸念される。

また、「映画・芸術文化鑑賞」、「日帰り旅行・行楽」、「ゴルフ・スポーツ」等教養娯楽関係については、消費支出を「増やしたい」が「減らしたい」を大きく上回っており、今後の支出が期待される場所であるが、市内での支出割合が低く、市外での支出割合が高い項目であるため、市内消費の増加は限定的であり、あまり波及効果が期待できないと考えられる。

図表-20 今後の消費支出の増減意向



(2) 地域での消費活動に関して、どのような意識・考え方を持っているか

豊岡市内でマネーを循環させる方向性の一つとして、地元や自宅近くでの買い物行動である「インショッピング」を促進することによって、消費循環構造を改善することが必要である。こうした地域での消費活動に関して、どのような意識・考え方をしているのかを尋ねたところ(図表 21)、「日常生活の距離感での買い物」、「なじみの店でのきめ細かなサービス」、「地元地域の良さの再発見」、「新たな買い物スポットの発掘、地域情報の収集」の順で強い関心が寄せられており、「そう思う」、「どちらかといえば思う」という人の割合が、「あまりそう思わない」、「思わない」という人の割合を大きく

く上回っている。

また、「地元産品の率先した購入」、「趣味やこだわりには時間やお金を惜しまない」、「全国より優れた商品や美味しい食べ物が多い」といった点では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」という人の割合が、「あまりそう思わない」、「思わない」という人の割合を上回っているものの、その割合は拮抗している。

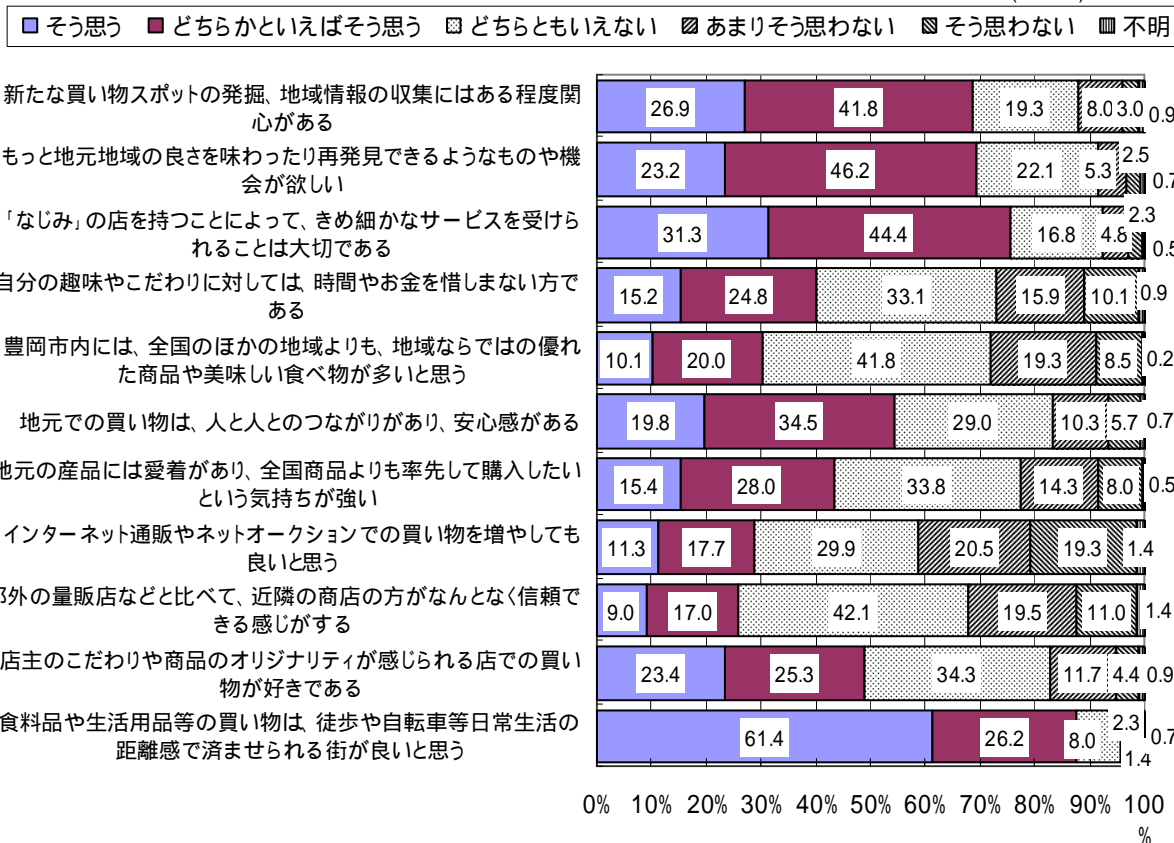
一方、「インターネット通販やネットオークションでの買い物」については、消極的な姿勢が目立ち、近隣の店舗での買い物を重視する傾向がうかがえる。また、「郊外の量販店と比べて、近隣の商店の方が何となく信頼できる感じがする」という意向・考え方については、否定的な意見の方が多くを占めている。

豊岡市民とその他市民を比較(図表 22)すると、「日常生活の距離感での買い物」、「なじみの店でのきめ細かなサービス」などは、同様に高い関心が示されている。一方、「地元産品の率先した購入」、「人と人のつながり、安心感」などの意識は、豊岡市民はその他市民に比べてやや低い。「インターネット通販やネットオークションでの買い物」については、その他市民の方が豊岡市民より否定的である。

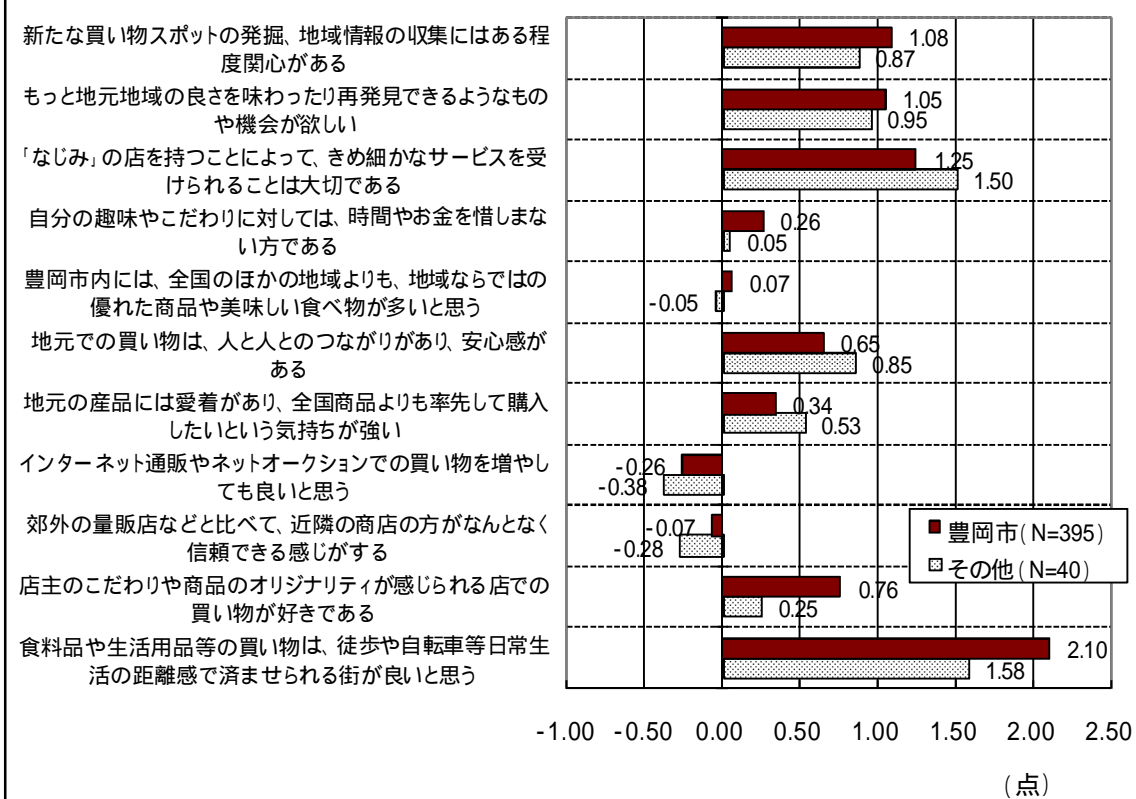
さらに、豊岡市民の消費活動に関する意識・考え方を年齢別(図表 23)にみると、20歳代、30歳代では「インターネット通販やネットオークションでの買い物」、「全国より優れた商品や美味しい食べ物が多い」、「新たな買い物スポットの発掘、地域情報の収集」について前向きな意向がうかがえる。50歳代、60歳以上では、「人と人のつながり、安心感」、「地元産品の率先した購入」に関して、高い共感が示されている反面、「インターネット通販やネットオークションでの買い物」については、否定的な見解であり抵抗感がうかがえる。

図表-21 地域での消費活動に関する意識・考え方

(N=435)



図表-22 地域での消費活動に関する意識・考え方(住所地別)



資料 2

図表 2 3 地域での消費活動に関する意識・考え方（豊岡市民・年齢別）

(点)

	食料品や生活用品等の買い物は、徒歩や自転車等日常生活の距離感で済ませられる街が良いと思う	店主のこだわりや商品のオリジナリティが感じられる店での買い物が好きである	郊外の量販店などと比べて、近隣の商店の方がなんとなく信頼できる感じがする	インターネット通販やネットオークションでの買い物を増やしても良いと思う	地元の産品には愛着があり、全国商品よりも率先して購入したいという気持ちが強い	地元での買い物は、人と人とのつながりがあり、安心感がある
20 歳代 (N=25)	1.60	0.56	0.00	0.32	-0.04	0.72
30 歳代 (N=95)	2.07	0.78	-0.34	0.35	0.16	0.31
40 歳代 (N=96)	2.12	0.59	-0.29	-0.17	-0.19	0.19
50 歳代 (N=142)	2.05	0.79	-0.04	-0.50	0.65	0.96
60 歳以上 (N=72)	2.17	0.67	0.44	-0.99	0.96	1.25
合計 (N=430)	2.06	0.71	-0.08	-0.26	0.36	0.67

	豊岡市内には、全国のほかの地域よりも、地域ならではの優れた商品や美味しい食べ物が多いと思う	自分の趣味やこだわりに対しては、時間やお金を惜しまない方である	「なじみ」の店を持つことによって、きめ細かなサービスを受けられることは大切である	もっと地元地域の良さを味わったり再発見できるようなものや機会が欲しい	新たな買い物スポットの発掘、地域情報の収集にはある程度関心がある
20 歳代 (N=25)	0.48	0.56	1.32	0.92	1.40
30 歳代 (N=95)	0.13	0.29	1.24	1.07	1.17
40 歳代 (N=96)	-0.33	0.11	1.07	0.86	1.15
50 歳代 (N=142)	0.16	0.19	1.39	1.10	1.00
60 歳以上 (N=72)	0.13	0.30	1.27	1.16	0.77
合計 (N=430)	0.06	0.24	1.26	1.04	1.06

(注)「そう思う」を3点、「どちらかといえばそう思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまりそうは思わない」を-1点、「そう思わない」を-3点として算出した平均点